

## 6-30 事例③⑩

# 実践協力校における実践 海老名市立社家小学校（2年生・生活科）

## 「これまでのわたし これからのわたし」

### I 学校全体における取組

#### (1) 学校教育目標及び重点テーマ

本校では「心身ともに健康で、心豊かな子の育成」をめざし、①自ら学ぶ子②思いやりのある子③礼儀正しい子④たくましい子の4つの学校目標を掲げており、この学校目標の具現化に向け、令和7年度から『つながる力』の育成を重点目標としています。具体的には『つながる力』として「他者とのつながりのなかで課題を解決する力」「主体的に学びを深められる力」「対話力&共感力」「リーダーシップ&フォロワーシップを発揮できる力」の4つの力を挙げ、様々な教育活動を進めているところです。

#### (2) 校内授業研究のテーマ

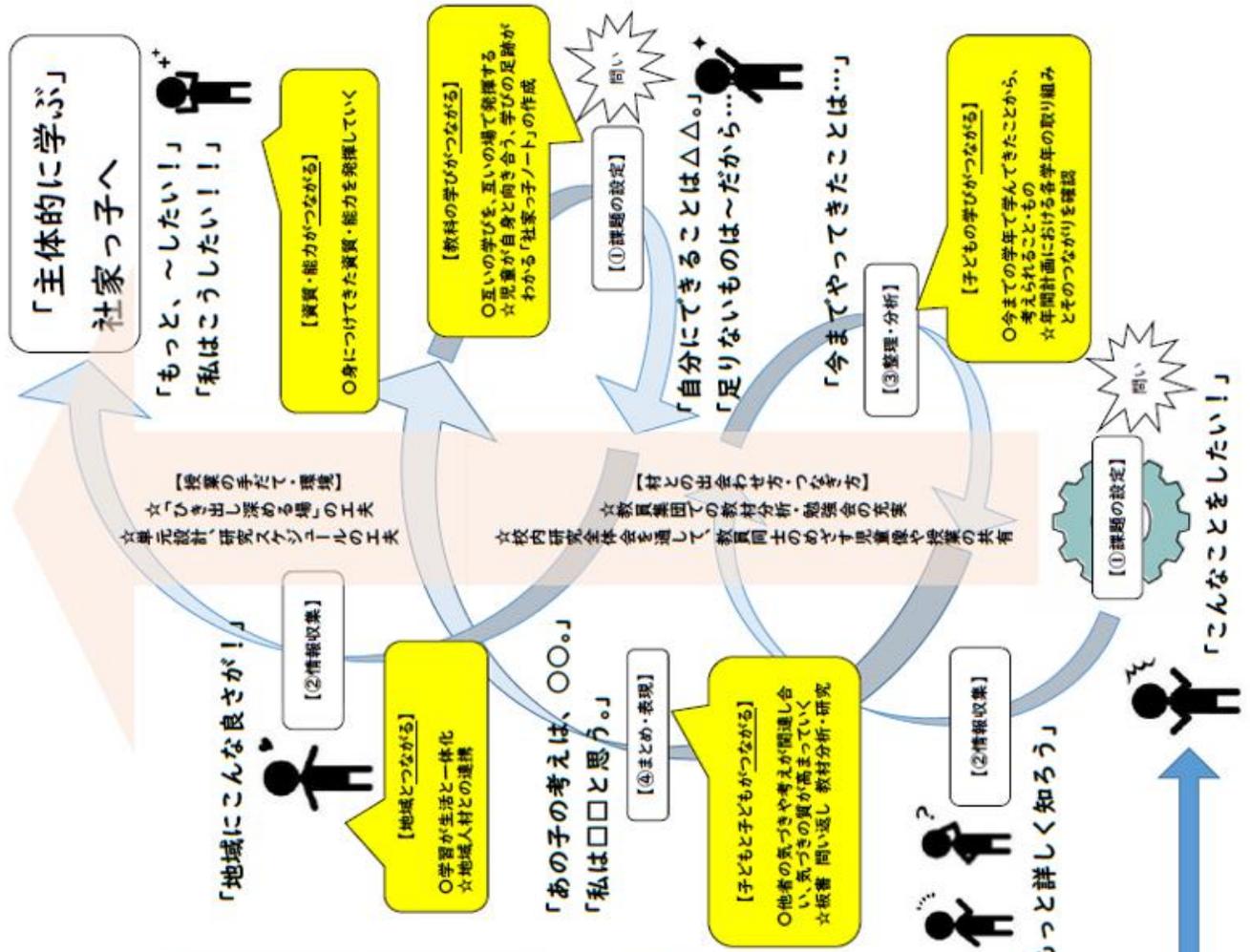
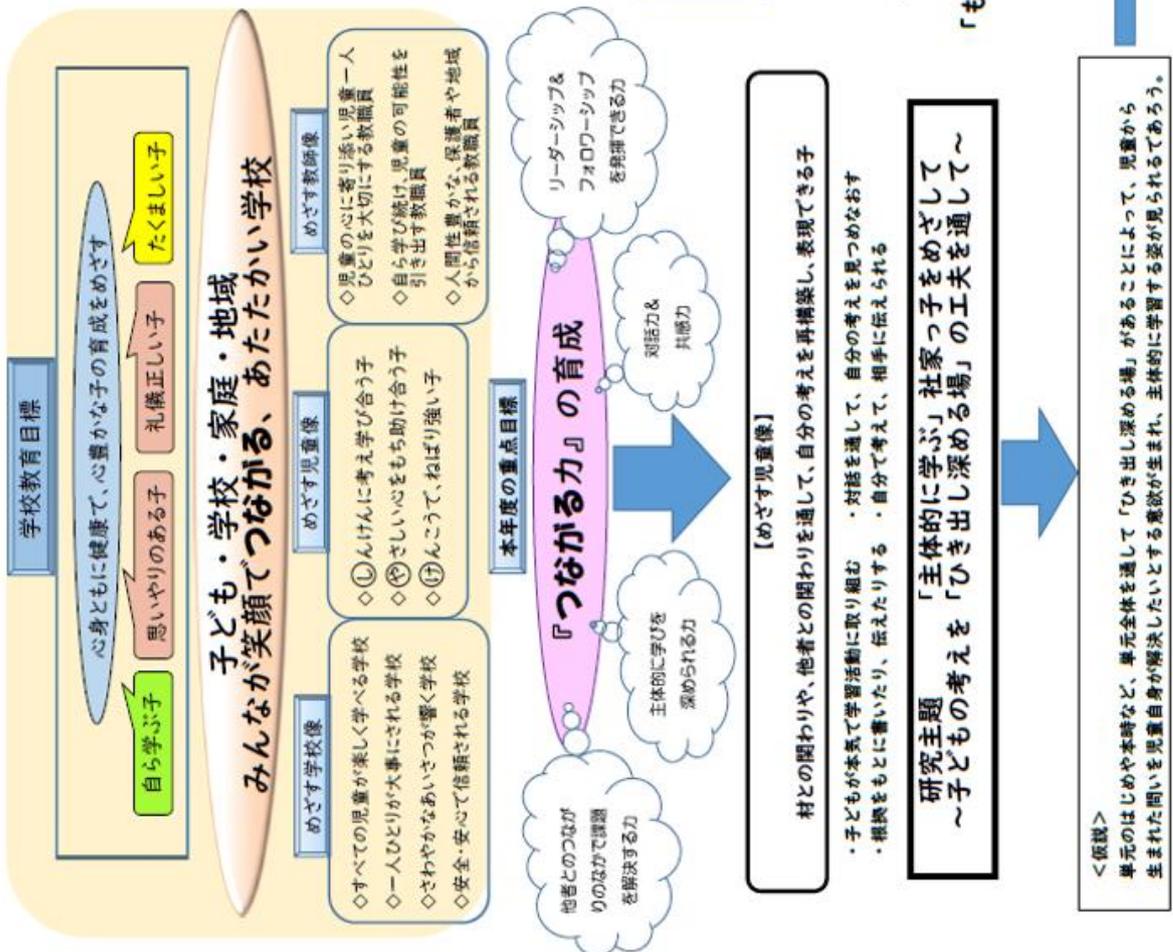
本校の校内授業研究では、主題と副題を『主体的に学ぶ』社家っ子をめざして～子どもの考えを『ひき出し深める場』の工夫を通して～』として研究を行ってきました。「主体的な姿」とは、児童自らが学習中の「疑問」や「わからないこと」を明らかにし、他者と関わり合い、協働して学びの質を高めていく姿と定義しています。具体的には、児童が学習を通して「もっと知りたい」「こんなことをやってみたい」と思える学習材と関わっていく中で、子ども自身が自分のすべきことを自分で決め、活動や議論を進めたり、子どもたちで学習をまとめたりする姿であり、子ども主体の活動が繰り広げられる授業を目指しています。

#### (3) 「政治的教養を育む教育」との関わり

6年生の社会科の公民分野で扱う「国と政治」を題材とした授業がイメージされがちですが、「政治的教養を育む教育」、いわゆる主権者教育は、どの学習においても実践可能です。政治そのものの仕組みや政策について学ぶだけではなく、児童・生徒の発達の段階に応じて、自分の身の周りや住んでいるまち等の身近な問題から現実社会における社会的な諸問題まで、それらを自分のこととしてとらえ、話し合い、相手を尊重し、様々な意見を自分の中で考え合わせながら、合意形成のかたちを想定し、意思を決定するに至る過程を大切にして、社会参画につなげていく学習です。

本校で実践した2年生、6年生の両学年では、共にポイントとする学びのプロセスとして「他者の考えを聞き、自分の考えを（再）構築する」を取り上げ指導してきました。2年生は「自分の成長」、6年生は海老名市の名産「トマト」を授業の題材として扱い、他者との話し合いをとおして目指す児童の姿に育つよう指導してきました。学習のめあてや課題解決に迫る過程において、自分の考えをもち、他者との考えから自分の考えを見つめ直すことで、その後の話し合いの質を高めるから、上述した校内授業研究のテーマと関連付けています。

# 令和7年度 研究構想図





	◆「もっと知りたいこと」を調べ、分かったこと、気付いたこと、思ったことをまとめる。
3	<p>小単元③「自分の成長をまとめよう」</p> <p>☆自分の成長を伝えたいという思いをもって、これまでの生活や出来事を思い浮かべながら、自分らしさや成長し続ける自分をまとめようとする姿</p> <p>◇自分の成長をまとめる中で、自分の成長について伝えたい内容や相手を決め、その内容を分かりやすくまとめる表現方法を選び、工夫してまとめることができる。</p> <p>◆調べて分かったことを話し合うとともに、自分の情報を整理し、成長とそれに関わる人を結びつける。</p> <p>◆自分の成長をまとめる方法を話し合い、決める。</p> <p>◆成長について、自分なりの方法でまとめる。</p>
4	<p>小単元④「成長した自分を伝えよう」</p> <p>☆これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、伝える活動を通して捉え直した自分の成長やよさ、可能性をこれからの生活に生かそうとする姿</p> <p>◇自分の成長を伝える活動を通して、自分を過去・現在・未来の視点でまとめ、自分の生活や成長を支えてくれた人に感謝の気持ちをもって、これからも意欲的に生活することができる。</p> <p>◆自分の成長を伝える。</p> <p>◆自分の成長を伝えたことを振り返り、まとめる。</p> <p>◆「これからの私（3年生に向けて）」を考え、まとめる。</p>

### ポイント1

#### 自分のことから見出す、人との関わり

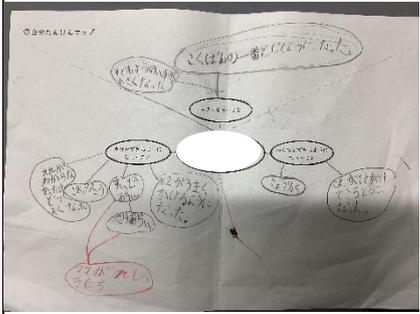
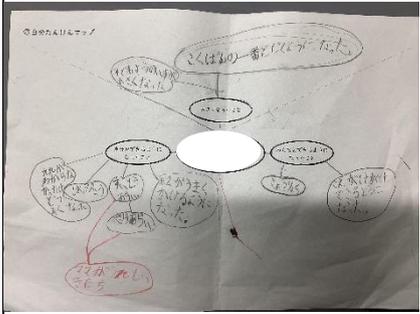
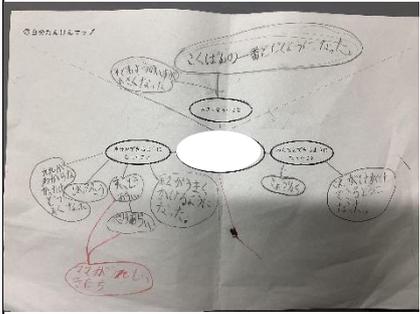
家庭や学校、地域での生活を振り返り、「自分と人とのつながり」に気付くことは、自分が社会の一員であることへの実感を育むことにつながります。自分の成長を起点にすることにより、他者への感謝や、共に支えて生きる意識が芽生え、「社会」への関心をもつ一歩となるような単元計画がポイントです。

## ② 本時の様子

### 1. 本時の目標

成長したことを話し合う活動をとおして、2年生になって自分でできるようになったことや友達とできるようになったことに気付くことができる。

### 2. 本時の展開

過程	活動の流れ	ポイントになる学びのプロセス
導入	<p>○前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。(全体)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> <p>先生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 前回の学習では、「体が大きくなった成長」を中心に話し合いました。</li> <li>• どのようなことから成長に気付きましたか。</li> </ul> <p>先生</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p>先生</p> <p>見た目でも記録でも、身長が伸びたことから分かりました。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p>先生</p> <p>1年生の時に履いていた靴がもう入らないことから分かりました。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div>	

今日は、「できるようになったこと」から成長  
を見つけていきましょう。



先生

自分でできるようになったこと、友達と  
できるようになったことを見つけよう。

展開  
①

○自分でできるようになったこと・友達とできるようになったこと  
を見つけ、見つけたことを話し合う。

発表を多くするようになった。



習っているサッカーが上手になった。



図工で絵が上手になった。



・そっか。授業のことでいいのか。  
・それじゃあ僕は、前は4の段が分からなかった  
けど、分かるようになった。

★ 体育の時間に、みんなが水筒をきれいに置くこと  
ができるようになった。



★ 誰かが話しているときに静かに聞くことができ  
るようになった。



音楽発表会で、みんなで音をそろえること  
ができた。



どうして成長に気付くことができた  
のかな。



先生

できなかったことが、できるようにな  
ったかたら。



見たり、聞いたりしたときに、きれいに  
揃っていたから。



2年生になったばかりの頃と比べたら、  
すぐに気付けた。



### 目指す子どもの姿

友達の考えを聞いたり、  
その考えに反応したりする  
こと、自分の考えを話した  
り、反応してもらったりす  
ることを通して、自分の考  
えに合う言葉や表現を見つ  
ける姿。

### 【様々な考えから、 自分の考えを構築す る①】

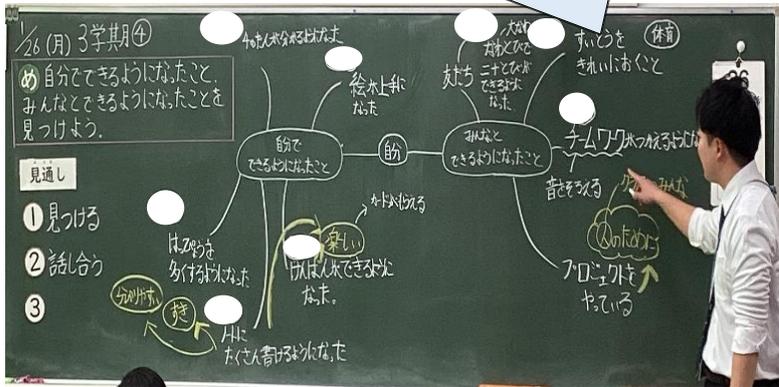
・友達の発言を復唱  
する進め方とするこ  
とで、友達の考えを  
捉える機会とした。

・児童の名前と発言  
を黒板に示すこと  
で、必要に応じて見  
返した際、思い出し  
やすくすることをね  
らった。

・適宜理由を尋ねる  
ことで、その子らし  
さの発言をおし、  
多様性に気付けるよ  
うにした。

展開  
②

- ・どうしてできるようになったのかな。
- ・みんなが考える理由を教えて。



**ポイント2**

【様々な考えから、自分の考えを構築する②】

・必要に応じて掲示物を使い、場面のイメージをもつ手がかりにした。

・同じような内容を書いたかどうかを問い返しながら類別することで、友達の意見を整理して理解できるようにした。

・どうしてできるようになったのかを問い返し、その理由を聞くことで、できるようになる要因を表出させ、できるようになったことの共通点に気付けるようにした。



みんなが頑張ったから！

楽しいから！



たしかに！好きだから！



必要なことだと思って、やり続けてきたから！

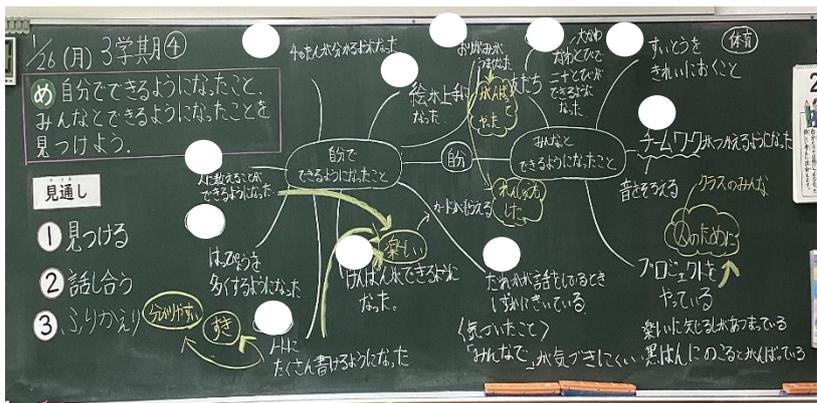


友達やおうちの人に手伝ってもらえたから！

展開  
③

○黒板を見て気付いたことを話し合う。

- ・できるようになったことと、その理由についてたくさん発表してくれました。
- ・黒板を見て、気付くことはありますか。



	<p>矢印が集まっていることから、「楽しい」と感じることに成長していることが分かった。</p> <p>自分でできるようになったことと比べて、みんなでできるようになったことって気づきにくいのかなと思った。</p> <p>成長している実感はあるから、見つけづらいってことなんだと思うな。</p> 	
<p>まとめ</p>	<p>○本時の学習のまとめをし、次時の見通しを立てる。</p> <p>・自分でできるようになったことには、「好き・楽しい」や「身近な人との関わり」がかかっていたね。 ・次の時間は、みんなでできるようになったことについて、もっと広げていこう。</p> <p>先生</p> <p>○振り返りを記入する。</p>  <p>自分でできるようになったことが増えた。これからも頑張りたい。</p> <p>自分もみんなも、成長しているなと思った。</p> <p>何かを練習しているときに助けてくれる人がいたことが分かった。</p> <p>たくさん書くことができたし、隣の子もたくさん書いていた。</p>	<p>【様々な考えから、自分の考えを構築する③】</p> <p>振り返りのワークシートを3種類用意し、各自が表現しやすい様式を選べるようにする。</p>

## ポイント2

### 考えの構築に向けた、発達段階に応じた板書の工夫

授業中に子どもたちの発言を類別し、名前と発言内容を記録することで、自分の意見が友達の意見とどうつながるかを視覚的に示すことができます。これにより、子どもたちの必要に感じたタイミングで授業の流れを振り返りやすくなり、対話的で深い学びを促進することができます。

## ③ 研究協議

### 1. 研究協議のテーマ

「様々な考えから、自分の考えの構築へと向かっている子どもの姿～『人』とのどんな関わりで起因していたか。」

### 2. 成果と課題、参観者の意見

#### 成果

- 子どもたちの発言を板書で整理する過程で、「同じ」「似ている」「少し異なる」など、相違を確認しながら展開していくことで、子どもたちは自身と友達の考えを結び付けながら考え、発言しながら課題解決に向かっていった。
- 頻繁に設定されていたペアで伝え合う時間が、自身の考えを言語化する機会となり、考えを構築する後押しとなっていた。
- 教員と自身の考えを伝え合うやり取りをとおして、自身の考えの構築を深めていって行くプロセスも見られた。

**課題**

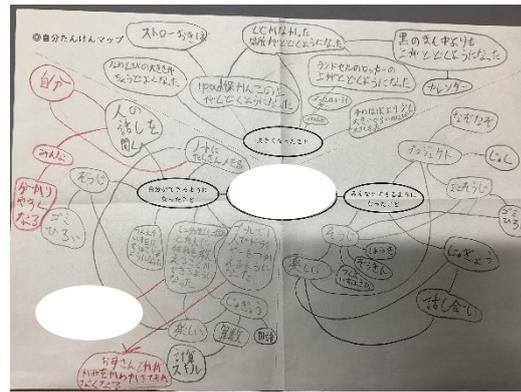
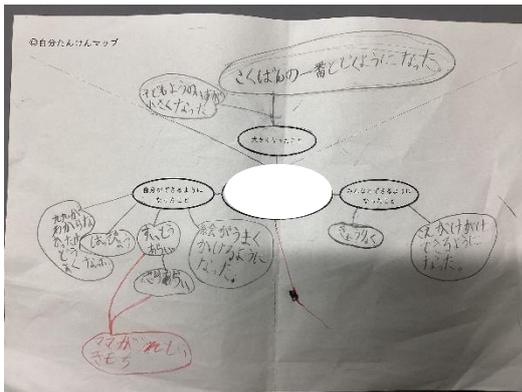
- ・「自分自身の成長」と「2年生全体の成長」について同時に扱われていたが、2年生という発達段階を鑑みると、「自分自身の成長」を完結させた後、「2年生全体としての成長」という展開が適していたのではないかと。
- ・能力的に自分自身でできるようになったことから、係活動や家庭での手伝いについて「与えられる役割が増えた」というアプローチをしていくことで、「他者との関わり」という視点に自然とつなげられたと考えられる。

**④ 事後の取組**

第5時はみんなとできるようになったことを中心に、プリント（自分たんけんマップ）に書き足していく時間をとった。その中で児童は、自分一人の力だけでなく、周囲の友だちや家族、先生といった「誰かの助け」があったことできるようになったことがあるということに気づいていった。

さらに学習を深めるため、できるようになったことが「誰かの役に立っているか。」「誰かのためになっているか。」という視点で見つめ直させた。プリント（自分たんけんマップ）を再確認し、赤鉛筆で書き足す活動を通して、「楽しく過ごせる。」「コツを教えることができる。」「大人（お家の人）を喜ばすことができる。」といった考えが生まれ、他者への貢献や自己有用感の芽生えが見られた。

一方で、友達の発言を聞いてその良さを認めることはできるものの、自分のことになると何が役に立っているのか、誰の役に立っているのかが分からないという意見も生まれた。自分の良さを客観的に捉えることの難しさを表出させ、次の時間に進んだ。



第6時では、「自分のことをもっと知るためにどんな方法があるのか。」を議題に話し合った。最終的に、3つの活動へと集約されたため、第7時では、どう行おうか（いつ、だれに、どうやって）について話し合った。3つの活動について、1つ目は、「友達の『いいな』と思うところをメモして伝えること」、2つ目は、「自分らしさをカードや付箋に書いてもらうこと」、3つ目は「3年生など、憧れの人に話を聞いたり、調べたりすること」と決めた。1つ目、2つ目の活動は、互いに見取りその良さを見つけること、他者の視点を受容することを大事にしていきたい。3つ目の活動は、個々の憧れの人だけでなく3年生を対象とする時間をとることで、自分たちの少し先の未来を具体的に描き、成長への期待感を高める機会としたいと考えている。

これらの活動を通して、児童が他者からの言葉をきちんと受け止め、自分にしかない「成長」と「自分らしさ」を再発見しながら自信をもって次の一步を踏み出せるように、指導を継続していきたい。

<p>2/6 (金) 3学期 ⑦</p> <p>③ 3つの方法の行い方を話し合おう。</p> <p>曜日ごと ↓ なれたとき 2コマ</p>	<p>① いいなと思うところをメモする</p> <p>&lt;いつ&gt; 学校にいる時間</p> <p>&lt;どうするか&gt; ① おとなりさん② せんいん ③ きまふ時間にもむ ④ カループ ⑤ ランダム</p>	<p>② 「自分らしい」ところをフセンに書いてもらう</p> <p>&lt;いつ&gt; 生活の時間</p> <p>&lt;どうするか&gt; フセン・カード</p> <p>スピード</p>	<p>③ あこがれの人にインタビュー</p> <p>&lt;いつ&gt; 生活の時間</p> <p>&lt;どうするか&gt; 3年生にインタビュー</p> <p>有名人はできない... インタビューは、できる。</p> <p>休み時間にきくお手紙がけはよし。</p> <p>次の時間は インタビューの内行き考える。</p>
--	--	---	--